

夢と未来にお手伝い… 東奥信用金庫

ごあいさつ

日頃皆さまには、東奥信用金庫をご愛顧いただき厚く御礼申し上げます。
当金庫に対する皆さま方のご理解を深めていただくために、本年もディスクロージャー誌「LOOK UP とうしん 2022」を作成いたしました。
本冊子を通じて当金庫を一層ご理解いただき、ご信頼を賜れば幸いに存じます。

2021年度の日本経済全体の景況は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が続く中で、持ち直しの動きが一服しております。先行きについては、感染対策に万全を期し、経済社会活動が正常化に向かう中で、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、景気が持ち直していくことが期待されます。ただし、海外情勢等による不透明感がみられる中で、原材料価格の上昇や金融資本市場の変動、供給面での制約等による下振れリスク、また、感染症による影響を注視する必要があります。

青森県内の景気は、感染症の影響からサービス消費を中心に厳しい状態にある中、供給制約の影響もあり、弱めの動きとなっております。当津軽地域でも、感染症拡大予防対策を要因とした長期にわたる低迷が継続しており、引き続き厳しい状況にあります。今後は、感染症の影響による景況感の冷え込みの継続に注意を払うとともに、将来における地域内の人口減少、少子高齢化等が、地域経済に与える影響について注視していく必要があります。

このような環境の中、当金庫では長期経営計画「とうしん『変革への挑戦』2021-2023」の初年度にあたり、お客さまとのリレーションシップのもと、課題解決の徹底を図ることにより、会員、お客さまの幸せづくりと、地域全体の成長に貢献することを目指し活動してまいりました。

その結果、業務純益が3億55百万円、当期純利益は1億85百万円の業績を収めることができました。これも偏に会員を始めとした地域の皆さまのご支援の賜物と厚く御礼申し上げます。

迎える2022年度も、当金庫の未来は地域とともにあるという自覚と責任を胸に、全役職員一丸となってお客さま一層努力してまいります。

今後とも一層のご理解、ご支援を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

2022年7月

東奥信用金庫

理事長 小中雅彦

